開催日時	202	1年12月15日(水) 19:0	00				
開催場所	(株)も	アルバンク会議室 (東京都	7中央区勝どき	1-	13-1)		
議題(区分)	□ 疾□ 再	□ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査					
治療/研究名・分類	【第二	二種】自己多血小板血漿(F 膝関節内組織修復(a:PRP)を用い	た 治療・ 研究)	
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	医療法	 长人社団鴻愛会こうのす共	生病院				
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	織田	徹也					
提供計画番号		_	審査等業務の 提供計画を受			2021/11/18	
	出欠	氏 名(構成要例	牛) 出	欠	氏 名	(構成要件)	
委員の氏名等	0	田中 越郎 (分子生物学	:) ☆ >	×	大村健(活	去律) 	
★:委員長	0	難波 大輔 (分子生物学)		C	美和 薫 (注	去律)※	
☆:副委員長	0	浅原 孝之 (再生医療等	(\supset	足立 智孝 (生命倫理)★	
※:女性委員	\circ	田中 牧惠 (再生医療等	*) **	\subset	田久 浩志(生	物統計学)	
○: 出席	×	赤松 正 (臨床医)		\supset	西村 浩之 (一般)	
×:欠席 一:審議参加·採決不参加	0	北條 元治 (細胞培養加	ゴ) (\supset	松井 宏夫 (一般)	
	\circ	猪口 貞樹 (細胞培養加	(江)	\subset	池田 曜子 (一	一般)※	
技術専門員(評価書)	脇谷	滋之(対象疾患の専門家)					
議論の概要と意見	る 1.2.3.4.その3.4.そのその4.そのその4.	でユーにおける下記の技行を確認した。 け象症例で関節の規定がだけ、肩など関節を規定すべき。 は明同意書で「血小板を濃縮した。 と明同意書で「血小板を濃縮した。 とはよるというという基準では、とういう基準で併用する。 は明同意書内「PRPの保管の関係をでは、とういう基準では、それが、とういうとの文面では、それが、とうなされた後、当該施術については安全	なく、このままでなく、このままである。 宿しようといて得られたのである。 おいであるが、可ないでは、ことのであるが、可ないでは、ことのでは、ことのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	で こPRF	全ての関節に表すを関節内などの を関節内などの を関節内などの を関節内などの を を と と と と と と と と と と と と と と と と と	と与可能となる。膝、 の傷んだ部分に局所 による組織修復など 節内投与で、血管新 半は削除すべきであ することがある、とあ 定できない将来の研 「・・・提供先における 利用されることがあり すべきである。	

	供計画は適切であるとされた。
意見	本提供計画は適切である。

開催日時	202	1年12月15日(火) 19:	00			
開催場所	(株)さ	アルバンク会議室 (東京都	『中央区勝	どき 1ー	13-1)	
議題(区分)	口 疾口 再	□ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査				
治療/研究名·分類	自家培	ら 発脂肪由来幹細胞を用い で	へた脂肪組	織再生征	術【第二種】(治療・ 研究)
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	医療法	长人社団将恵会 銀座3丁	目•BANNA	AI 美容么	ウリニック	
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	坂内	誠				
提供計画番号		_			象となった 反った年月日	2021/11/18
	出欠	氏 名(構成要	件)	出欠	氏 名	(構成要件)
委員の氏名等	0	田中 越郎 (分子生物学	±) ☆	×	大村 健 (治	去律)
★:委員長	\circ	難波 大輔 (分子生物学)		0	美和 薫 (活	去律)※
★·安貞校 ☆:副委員長 ※:女性委員	0	浅原 孝之 (再生医療等	Ė)	0	足立 智孝 (生命倫理)★
	\circ	田中 牧惠 (再生医療等	等)※	0	田久 浩志(生	
○:出席	×	赤松 正 (臨床医)		0	西村 浩之 (
×:欠席 一:審議参加·採決不参加	<u> </u>	北條 元治 (細胞培養)	1工)	0	松井 宏夫 (—般)
	\circ	 猪口 貞樹 (細胞培養)	1工)	0	池田 曜子 (一	-般) ※
技術専門員(評価書)	赤松	正(対象疾患専門家)	II.		L	
議論の概要と意見	り行わ 治療パス 許 上 記 除っ こ 2.	った「高血圧」の記載が抜けていたため、関連プロトコールに追記すること。				
意見	本提供	共計画は適切である。				

開催日時	202	1年12月15日(水) 19:	00			
開催場所	(株)さ	アルバンク会議室 (東京都	邓中央区勝	ぎょ1ー	13-1)	
議題(区分)	□ 兆□ Ⅰ	□ 疾病報告の審査 □ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査				
治療/研究名•分類	自家均	音養真皮線維芽細胞を用い	小た皮膚 再	手生治療	【第二種】(治	療・研究)
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	医療法	去人社団白慈会 白金坂 <i>0</i>)上診療所	Î		
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	井上	幸彦				
提供計画番号		_			象となった 取った年月日	2021/11/18
	出欠	氏 名(構成要	件)	出欠	氏 名	(構成要件)
委員の氏名等	0	田中 越郎 (分子生物学	≠) ☆	×	大村 健 (沒	长律)
★:委員長	0	難波 大輔 (分子生物学))	0	美和 薫 (法	法律)※
☆: 副委員長 ※: 女性委員	○ 浅原 孝之 (再生医療等)		0	足立 智孝 (生命倫理) ★		
	0	田中 牧惠 (再生医療等	等)※	0	田久 浩志(生	物統計学)
○: 出席	×	赤松 正 (臨床医)		0	西村 浩之 (-	 一般)
×:欠席 一:審議参加·採決不参加	_	北條 元治 (細胞培養)	口工)	0	松井 宏夫 (-	一般)
	0	猪口 貞樹 (細胞培養力	『工)	0	池田 曜子 (一	般)※
技術専門員(評価書)	田中	牧惠(対象疾患専門家)				
議論の概要と意見	本再生医療導入のため、新規に申請された提供計画が審査された。 治療スキームは今まで審査実績のある RD クリニックのものと同等であった。そのため、一部を除く書類は審査済みであった。医療機関独自の内容については医師 2 名の履歴書、説明・同意書および料金表、救急医療連携機関の内容を確認し、問題ないことを確認した。 技術専門員からの評価書においても本治療の安全性と科学的妥当性に問題ないとの評価がなされた。 それらを受け審査され、計画は全会一致で適切とされた。					
意見	本提供	共計画は適切である。				

開催日時	202	1年12月15日(水)19:	00			
開催場所	(株)さ	アルバンク会議室 (東京都	『中央区勝	巻どき 1ー	13-1)	
議題(区分)	□ 兆□ Ⅰ	□ 疾病報告の審査 □ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査				
治療/研究名•分類	自家培	音養真皮線維芽細胞を用い	小た皮膚 再	手生治療	【第二種】(治	療・研究)
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	医療法	法人麗光会 ヨーダー公子	クリニック	黄浜六浦	院	
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	美濃口	1 洋一				
提供計画番号		_			象となった 取った年月日	2021/11/18
	出欠	氏 名(構成要	件)	出欠	氏 名	(構成要件)
委員の氏名等	0	田中 越郎 (分子生物学	≤) ☆	×	大村 健 (法	长律)
★:委員長	0	難波 大輔 (分子生物学)		0	美和 薫 (法	法律) ※
☆:副委員長 ※:女性委員	\circ	浅原 孝之 (再生医療等	美)	0	足立 智孝 (生	生命倫理)★
	\circ	田中 牧惠 (再生医療等	%	0	田久 浩志(生	物統計学)
○:出席	×	赤松 正 (臨床医)		0	西村 浩之 (-	一般)
×:欠席 一:審議参加·採決不参加	_	北條 元治 (細胞培養)	口工)	0	松井 宏夫 (-	一般)
	0	猪口 貞樹 (細胞培養)	口工)	0	池田 曜子 (一	般)※
技術専門員(評価書)	田中	牧惠(対象疾患専門家)				
議論の概要と意見	本再生医療導入のため、新規に申請された提供計画が審査された。 治療スキームは今まで審査実績のある RD クリニックのものと同等であった。そのため、一部を除く書類は審査済みであった。医療機関独自の内容については医師 2 名の履歴書、説明・同意書および料金表、救急医療連携機関の内容を確認し、問題ないことを確認した。 技術専門員からの評価書においても本治療の安全性と科学的妥当性に問題ないとの評価がなされた。 それらを受け審査され、計画は全会一致で適切とされた。					
意見	本提供	共計画は適切である。				

開催日時	202	1年12月15日(水) 19:	00			
開催場所	(株)さ	アルバンク会議室 (東京都	『中央区勝る	どき 1ー	13-1)	
議題(区分)	□ 兆□ □ 月	□ 疾病報告の審査 □ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査				
治療/研究名・分類	自家培	芸養真皮線維芽細胞を用い	へた皮膚再?	生治療	【第二種】(治	療・研究)
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	神道レ	ディースクリニック心斎橋	院			
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	木戸	健陽				
提供計画番号		_	審査等業提供計画		象となった 反った年月日	2021/11/18
	出欠	氏 名(構成要	件)	出欠	氏 名	(構成要件)
委員の氏名等	\circ	田中 越郎 (分子生物学	≤) ☆	×	大村 健 (治	去律)
★:委員長	0	難波 大輔 (分子生物学)		0	美和 薫 (治	去律)※
★: 安貝氏 ☆: 副委員長 ※: 女性委員	0	浅原 孝之 (再生医療等	争)	0	足立 智孝 (生命倫理) ★
	0	田中 牧惠 (再生医療等	ş) ※	0	田久 浩志(生	物統計学)
○:出席	×	赤松 正 (臨床医)		0	西村 浩之 (—般)
×:欠席 一:審議参加·採決不参加	_	北條 元治 (細胞培養)	口工)	0	松井 宏夫 (—般)
	\circ	 猪口 貞樹 (細胞培養)	1工)	0	池田 曜子 (一	-般) ※
技術専門員(評価書)	田中	牧惠(対象疾患専門家)			l	
議論の概要と意見	治一歴 接部書 接評 そ1. 2.	7.0000000000000000000000000000000000000				
意見	本提供	共計画は適切である。				

開催日時	202	2021年12月15日(水) 19:00					
開催場所	(株)さ	アルバンク会議室 (東京都	『中央区勝	きどき 1ー	13-1)		
議題(区分)	□ 兆□ Ⅰ	□ 疾病報告の審査 □ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査					
治療/研究名・分類	自家均	ら 養真皮線維芽細胞を用い	へた皮膚再	手生治療	【第二種】(治	療・研究)	
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	OCEA	NS Clinic					
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	福島	和人					
提供計画番号		_			象となった 取った年月日	2021/11/24	
	出欠	氏 名(構成要	件)	出欠	氏 名	(構成要件)	
委員の氏名等	0	田中 越郎 (分子生物学	≦) ☆	×	大村 健 (沒	长律) 	
★:委員長	0	難波 大輔 (分子生物学)		0	美和 薫 (法	法律)※	
☆:副委員長	○ 浅原 孝之 (再生医療等)		0	足立 智孝 (生命倫理)★			
※:女性委員	0	田中 牧惠 (再生医療等	\$) %	0	田久 浩志(生	物統計学)	
○: 出席	×	赤松 正 (臨床医)		0	西村 浩之 (-	 一般)	
×:欠席 一:審議参加·採決不参加	_	北條 元治 (細胞培養)	1工)	0	松井 宏夫 (-	一般)	
· 田 HX 5 / 74 DK V (1 5 / 74	0	猪口 貞樹 (細胞培養)	口工)	0	池田 曜子 (一	般)※	
技術専門員(評価書)	田中	牧惠(対象疾患専門家)					
議論の概要と意見	治療部書 技評 そ12月	本再生医療導入のため、新規に申請された提供計画が審査された。 治療スキームは今まで審査実績のある RD クリニックのものと同等であった。そのため、一部を除く書類は審査済みであった。医療機関独自の内容については医師 3 名の履歴書、説明・同意書および料金表を確認し、問題ないことを確認した。 技術専門員からの評価書においても本治療の安全性と科学的妥当性に問題ないとの評価がなされた。 それらを受け審査され、下記を条件に計画は全会一致で適切とされた。 12 月 24 日に医療機関開設予定であるため、開設後に救急医療連携の申請を行い、医療機関より連携証が届いてから届出を行うこと。					
意見	本提供	共計画は適切である。					

開催日時	2021年12月15日(水) 19:00					
開催場所	(株)さ	フルバンク会議室 (東京都	中央区勝と	ごき 1ー	13-1)	
議題(区分)	□ 兆□ 月	在生医療等提出計画書の審 疾病報告の審査 再生医療等の提供状況報告 再生医療等の適正な提供に	告(定期報告	音)の審	查)	
治療/研究名・分類	自家培	音養脂肪由来幹細胞を用レ	た変形性服	漆関節 』	定の治療 【第二	[治療]・研究)
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	OCEA	ANS Clinic				
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	福島	和人				
提供計画番号		_	審査等業務 提供計画		象となった 反った年月日	2021/11/24
	出欠	氏 名(構成要件	牛)	出欠	氏 名	(構成要件)
委員の氏名等	0	田中 越郎 (分子生物学	:) ☆	×	大村 健 (治	去律)
★:委員長	\bigcirc	難波 大輔 (分子生物学)		\bigcirc	美和 薫 (治	去律)※
☆:副委員長	\circ	浅原 孝之 (再生医療等	:)	0	足立 智孝 (生命倫理)★
※:女性委員	0	田中 牧惠 (再生医療等	·) ※	0	田久 浩志(生	
○: 出席	×	赤松 正 (臨床医)		0	西村 浩之 (一般)
×:欠席 一:審議参加·採決不参加	_	北條 元治 (細胞培養加	1工)	0	松井 宏夫 (一般)
	\circ	猪口 貞樹 (細胞培養加	工)	\bigcirc	池田 曜子 (一	-般)※
技術専門員(評価書)	脇谷	滋之(対象疾患の専門家)				
議論の概要と意見	る5.再再再再再5.月月月月月6.7.8.9.	 脇谷 滋之(対象疾患の専門家) 事前レビューにおける下記の技術専門員・委員からの指摘について修正がなされていることを確認した。 5. 再生医療等の名称および内容に「整形外科疾患に対する関節内治療」とあるが疾患名、部位を明らかにすべきである。「変形性関節症、関節周囲炎に起因する関節痛」とあるが関節の部位が記されていない。また関節周囲炎とはなにか。 6. 再生医療等の内容に「本治療は、脂肪由来肝細胞を関節腔に注入することによって、軟骨の再生が行われ・・・」とあるが、軟骨の再生は行われないので削除すべきである。 7. 再生医療等を受ける者の基準に「関節のこわばりおよび、動作初期疼痛を訴える患者」とあるがこれではあらゆる疾患が含まれるため、規定すべきである。 8. 再生医療等を受ける者の基準に「手術療法では改善が見込めず」とあるが、多くの変形性膝関節症では人工関節置換術により改善が認められる。 				

に対しては効果が少ない。 11. 除外基準について、前半には文章で、後半では箇条書きである。統一すべきであ 12. 再生医療等の内容に「関節腔に幹細胞を投与する」とあるが、どのようにして確実 に関節内であることを確認するかの記載がない。 13. 説明同意書 16.その他特記事項に「6 か月後までには、定期的な通院と診察にご 協力ください」と記載されているが、提供計画・再生医療等の提供終了後の措置の 内容には、2 か月に 1 度の通院について明記されているため、提供計画の詳細な 記載を説明同意書にも記載した方が良い。 その後、質疑応答がなされた後、審議に移った。 結果、下記を条件に全会一致で本提供計画は適切であるとされた。 ・再生医療等の内容の「脂肪由来幹細胞は、軟骨・血管・脂肪などを含む多様な細胞 に分化できる能力を持つことから、部位の炎症を抑える効果が期待でき…」について、 分化できる能力と炎症を抑える効果に因果関係がないため「脂肪由来幹細胞は、軟 骨・血管・脂肪などを含む多様な細胞に分化できる能力を持ち、…」と修正すること 意見

本提供計画書は適切である。

開催日時	202	1年12月15日(水) 19	00:00			
開催場所	(株)セ	アルバンク会議室 (東京	都中央区勝	ぎどき 1ー	13-1)	
議題(区分)	□ 羽□ 耳	□ 疾病報告の審査 □ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査				
治療/研究名・分類	自家培	音養真皮線維芽細胞を用	いた皮膚再	F生治療	【第二種】(治	済療・研究)
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	フォー	シーズンズ美容皮膚科				
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	柏原	俊博				
提供計画番号		PB5200033	H 4 //		象となった 取った年月日	2021/11/18
	出欠	氏 名(構成要	[件]	出欠	氏 名	(構成要件)
委員の氏名等	\circ	田中 越郎 (分子生物	学) ☆	×	大村 健 (法律)
★:委員長	0	難波 大輔 (分子生物学	<u>;</u>)	0	美和 薫 (法律)※
★·安貞及☆:副委員長	0	浅原 孝之 (再生医療	等)	0	足立 智孝 (····································
※:女性委員	0	田中 牧惠 (再生医療	等)※	0	田久 浩志(生	 -物統計学)
○:出席	×	赤松 正 (臨床医)		0	西村 浩之 ((一般)
×:欠席 一:審議参加·採決不参加	_	北條 元治 (細胞培養	加工)	0	松井 宏夫 ((一般)
	\circ	猪口 貞樹 (細胞培養	 加工)	0	池田 曜子 (-	一般)※
技術専門員(評価書)	_					
議論の概要と意見)実施医師追加の変更が けることを条件に、本変				こ」の規定に従って教
意見	本変更	見は適切である。				

開催日時	202	1年12月15日(水) 19:	00			
開催場所	(株)さ	アルバンク会議室 (東京都	『中央区勝どき1	-13-1)		
議題(区分)	□ 兆□ 月	□ 疾病報告の審査 □ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査				
治療/研究名・分類	自家培	ら 養真皮線維芽細胞を用い	へた皮膚再生治療	療【第二種】(治	療・研究)	
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	フォー	シーズンズ美容皮膚科 2	号院			
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	脇田	尚子				
提供計画番号		PB5200032	審査等業務の規模計画を受け		2021/11/18	
	出欠	氏 名(構成要	件) 出久	氏 名	(構成要件)	
委員の氏名等	\circ	田中 越郎 (分子生物学	≥) ☆ ×	大村 健 (注	去律)	
▲、禾昌昌	0	難波 大輔 (分子生物学)	0	美和 薫 (注	 去律) ※	
★:委員長 ☆:副委員長	0	浅原 孝之 (再生医療等)		足立 智孝 (足立 智孝 (生命倫理)★	
※:女性委員	0	田中 牧惠 (再生医療等	\$) ※ ○	田久 浩志(生	物統計学)	
○:出席	×	赤松 正 (臨床医)	0	西村 浩之 (—般)	
×: 欠席 -: 審議参加·採決不参加		北條 元治 (細胞培養)	口工)	松井 宏夫 (
	\circ	猪口 貞樹 (細胞培養力	口工)	池田 曜子 (一		
技術専門員(評価書)	_					
議論の概要と意見)実施医師追加の変更が さけることを条件に、本変更			·」の規定に従って教	
意見	本変更	更は適切である。				

開催日時	202	2021年12月15日(水) 19:00				
開催場所	(株)セ	アルバンク会議室 (東京	80年央区勝	どき 1ー	13-1)	
議題(区分)	□ 兆☑ 月	□ 疾病報告の審査 □ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査				
治療/研究名・分類	自家培	· 音養真皮線維芽細胞移植	術 【第二種	重】	治療・	研究)
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	表参道	 ゴスキンクリニック				
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	松木	貴裕				
提供計画番号		PB3180047 審査等業務の対象となった 提供計画を受け取った年月日 2021/11/18				2021/11/18
	出欠	氏 名(構成要	件)	出欠	氏 名	(構成要件)
委員の氏名等	0	田中 越郎 (分子生物学	学) ☆	×	大村 健 (注	去律)
★:委員長	0	難波 大輔 (分子生物学)	0	美和 薫 (注	去律)※
★:安貝女 ☆:副委員長	0	浅原 孝之 (再生医療等	等)	0	足立 智孝 (生命倫理) ★
※:女性委員	0	田中 牧惠 (再生医療等	等)※	0	田久 浩志(生	:物統計学)
○: 出席	×	赤松 正 (臨床医)		0	西村 浩之 (一般)
×: 欠席 -: 審議参加·採決不参加	_	北條 元治 (細胞培養力	巾工)	0	松井 宏夫 (一般)
一. 俄俄多加 犹太小多加	0	 猪口 貞樹 (細胞培養力	巾工)	<u> </u>	池田 曜子 (-	 -般) ※
技術専門員(評価書)	_	I	U		l	
議論の概要と意見	定期報た。	股告内容について特段異	論はなく、3	全会一致	対で治療の継続	は適切であるとされ
意見	本定期	開報告の内容は適切である	3.			

開催日時	202	2021年12月15日(水) 19:00				
開催場所	(株)セ	フルバンク会議室 (東京都	邓中央区勝	どき 1ー	13-1)	
議題(区分)	□ 兆☑ 月	□ 疾病報告の審査 ■ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査				
治療/研究名・分類	自家培	音養真皮線維芽細胞を用い	ハた皮膚再 _年	生治療	【第二種】	治療・ 研究)
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	医療法	去人社団 MEDIAGE メデ	ィアージュク	リニック	福岡	
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	大島	玄				
提供計画番号		PB7150002 審査等業務の対象となった 提供計画を受け取った年月日 2021/11/18				2021/11/18
	出欠	氏 名(構成要	件)	出欠	氏:	名 (構成要件)
委員の氏名等	\circ	田中 越郎 (分子生物学	≰) ☆	×	大村 健	(法律)
★:委員長	0	難波 大輔 (分子生物学))	0	美和 薫	(法律) ※
★·安貞氏 ☆:副委員長	0	浅原 孝之 (再生医療等	笋)	0	足立 智孝	(生命倫理)★
※:女性委員	0	田中 牧惠 (再生医療等	争)※	0	田久 浩志(生物統計学)
○: 出席	×	赤松 正 (臨床医)		\bigcirc	西村 浩之	(一般)
×: 欠席 -: 審議参加·採決不参加	_	北條 元治 (細胞培養力	□工)	\circ	松井 宏夫	(一般)
一. 俄俄多加 犹太小多加	0	 猪口 貞樹 (細胞培養力	□工)	<u> </u>	池田 曜子 (一般)※
技術専門員(評価書)	_		Ш		<u> </u>	
議論の概要と意見	定期報た。	報告内容について特段異	論はなく、﴿	全会一致	处で治療の継	続は適切であるとされ
意見	本定期	明報告の内容は適切である	5.			

開催日時	2021年12月15日(水) 19:00							
開催場所	(株)セルバンク会議室 (東京都中央区勝どき 1-13-1)							
議題(区分)	□ 再生医療等提出計画書の審査 (新規申請) □ 疾病報告の審査 □ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査 □ 再生医療等の適正な提供に関する審査()							
治療/研究名・分類	自家培養真皮線維芽細胞を用いた皮膚再生治療【第二種】 治療・研究)							
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	RD クリニック札幌							
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	三田村 小百合							
提供計画番号	PB1150001		審査等業務の提供計画を受	対象となった ナ取った年月日	2015/11/10			
	出欠	氏 名(構成要	件) 出ク	氏 名	(構成要件)			
委員の氏名等	0	田中 越郎 (分子生物学			法律)			
	\circ)		美和 薫 ()	美和 薫 (法律) ※			
★:委員長 ☆:副委員長 ※:女性委員	0	浅原 孝之 (再生医療等)		足立 智孝 (生命倫理)★				
	0	田中 牧惠 (再生医療等)※		田久 浩志(生物統計学)				
○:出席 ×:欠席 -:審議参加•採決不参加	×	赤松 正 (臨床医)		西村 浩之 (一般)				
	_	北條 元治 (細胞培養加工)		松井 宏夫 (一般)				
	0	猪口 貞樹 (細胞培養)	『工)	池田 曜子 (-	一般)※			
技術専門員(評価書)								
議論の概要と意見	医師および定期報告対象期間中に施術を受けた患者双方による治療効果についての5段階評価(5.非常に改善、4.改善、3.変化なし、2.やや悪化、1.悪化)を行った中で、患者評価が「悪化」であった症例について、医師より細胞移植を行ってから2ヵ月後程で他院にて目の下の脂肪除去術を行っていることから、尚更皺が出てしまったが、明らかな副作用ではないという旨の説明がなされた。上記について異論等はなく、医師による説明を定期報告の科学的妥当性についての評価欄に追記することを条件に、全会一致で本定期報告の内容は適切であるとされた。							
意見	本定期報告の内容は適切である。							

開催日時	2021年12月15日(水) 19:00								
開催場所	(株)セルバンク会議室 (東京都中央区勝どき 1-13-1)								
議題(区分)	□ 再生医療等提出計画書の審査 (新規申請) □ 疾病報告の審査 ☑ 再生医療等の提供状況報告(定期報告)の審査 □ 再生医療等の適正な提供に関する審査()								
治療/研究名•分類	自家培養真皮線維芽細胞移植術【第二種】 (治療)・研究)								
再生医療等提供計画を 提出した医療機関の名称	堂島ライフケアクリニック								
再生医療等提供計画を 提出した医療機関管理者	佐藤 守仁								
提供計画番号		PR5150019			対象となった け取った年月日 2021/12/3				
	出欠	氏 名(構成要	(件)	出欠	氏 名	(構成要件)			
委員の氏名等	0	田中 越郎 (分子生物:	学) ☆	×	大村 健 (注	去律)			
★:委員長 ☆:副委員長 ※:女性委員	0	難波 大輔 (分子生物学	:)	0	美和 薫 (注	去律)※			
	\circ	浅原 孝之 (再生医療等)		0	足立 智孝 (生命倫理) ★			
	0	田中 牧惠 (再生医療	等)※	0	田久 浩志(生	:物統計学)			
○: 出席 ×: 欠席 -: 審議参加·採決不参加	×	赤松 正 (臨床医)		0	西村 浩之 (一般)			
	_	北條 元治 (細胞培養加工)		0	松井 宏夫 (一般)			
	0	 猪口 貞樹 (細胞培養)	 加工)	<u> </u>	池田 曜子 (-	 -般) ※			
技術専門員(評価書)									
議論の概要と意見	定期報告内容について特段異論はなく、全会一致で治療の継続は適切であるとされた。								
意見	本定期報告の内容は適切である。								